

不祥事根絶のための行動計画

東広島市立もみじ小・中学校
作成責任者 校長 玉里周二

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

もみじ小・中学校 不祥事ゼロ宣言

- ・私たちは、教育公務員として、法令を遵守し、行動します。
- ・私たちは、信頼される学校を目指し、組織的に動きます。
- ・私たちは、不祥事をしません。させません。許しません。

令和7年4月1日

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	教職員の規範意識や危機意識を高める必要がある。	常に誠実な言動を心がけ、児童生徒・同僚・学園の信頼を得る行動をとる。	年間研修計画に基づき、法令順守・公私の区別・SNS利用ルールなどを具体的事例とともに学ぶ。	服務研修は、管理職を中心に、各分掌で担当を決め、効果的な研修を行う。 各学期に意識アンケートを行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	教職員の関係づくりを推進する必要がある。	一人一人の教職員が不祥事を自らのものとして受け止め、組織として不祥事を許さない風土を確立する。	研修時において、相談しやすい雰囲気、問題を指摘し合える関係づくりを行う。	毎月1回、不祥事防止委員会において、実態を共有するとともに、課題があれば直ちに校内研修を実施する。
相談体制の充実	「体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口」を校内各所に掲示しているが、周知・徹底が不十分である。	機会をとらえて、「体罰、セクシャル・ハラスメント相談窓口」を周知する。	個人面談や道徳等で「相談することの大切さ」「心の健康」のテーマを取り上げる。	各学期に、生徒及び学園職員を対象に、アンケート調査を実施する。

